令和５年度 学校経営グランドデザイン

宇検村立名柄小中学校

○　教育関係法令等
○　県・地区教育振興基本計画
○　村教育行政施策

学校教育目標

自他を尊重し，夢や目標の実現に向けて努力する児童生徒の育成

○　児童生徒・地域の実態
○　家庭・地域の願い

経営の基本目標

人権教育を根底に置き，特色ある教育課程を編成・実施する中で，知・徳・体の調和のとれた児童生徒を育成する。

目指す子ども像

愛され応援される名柄っ子

- 夢や目標の実現に向けて努力する子
- 主体的に学び、心と体を鍛える子
- 自他を大切にし、思いやりの心をもつ子

本年度の重点課題

１　人権意識を高めることで得た信頼関係の中で、自己肯定感や自己有用感を高められるようにする。
２　基礎的・基本的な知識・技能を習得させ，活用する力を高めるとともに，主体的・対話的で深い学びができるようにする。
３　健康に対する関心・意欲を高め，体力・気力の向上を図るとともに，危険回避能力を育てる。

経営の基本方針

１　人権尊重の精神を基盤とした教育活動を実践する。
２　「知識・技能を活用する力」を育成し，確かな学力の向上に努める。
３　キャリア教育の視点に立った自己肯定感を高める教育活動を累積する。
４　児童生徒理解に基づく，個に応じた指導を充実する。
５　義務教育九か年を見通した切れ目のない小中連携を推進する。
６　家庭・地域と協働しながら，学校の伝統や校風の継承と発展に努める。

研 究 課 題

１　表現力を高める指導の工夫
２　少人数の特性を生かした授業デザインとＩＣＴ機器活用の工夫

一校一改善

立場に立たせて，達成感を味わわせ，自己肯定感を高める。

一事徹底事項

１学期：相手を思いやる行動をしよう。
２学期：体力向上に努めよう。
３学期：生活のリズムを整えよう。

目　標　値

○　いじめ認知件数増といじめ解消100%
○　不登校児童生徒数：０人
○　学力面（単元テスト正答率80%以上，諸学力調査正答率：県・全国平均以上）
○　読書冊数（小低100冊以上，小中90冊以上，小高80冊以上，中学40冊以上）
○　家庭学習（小低40分以上，小中50分以上，小高60分以上，中学90分以上）
○　う歯治療率100%
○　体力アップチャレンジ鹿児島の取組100%

名柄校らしい特色ある教育活動

○　児童生徒合同学習
・ボランティア活動　・学校行事
・エンカウンターの実施（月１回）
○　少人数学習やＩＣＴ機器活用を中心とした学習
○　学校支援ボランティアの活用
・八月踊り　・三味線　・空手

目指す学校像

１　児童生徒の自己実現をめざす学校
２　家庭・地域から愛され，応援される学校
３　郷土への理解を深め，郷土への愛情を育む学校

目指す教師像

１　教育に情熱をもち，児童生徒のよさや意欲を引き出す教師
２　常に研修に励み，学び続ける教師
３　児童生徒の「努力」を支援し，児童生徒や家庭・地域から信頼される教師

具 体 的 方 策 （ 努 力 点 ）

１　心の教育と人権同和教育の充実
(1)　全教育活動を通した人権感覚を高める学習の実践
(2)　考え，議論する道徳科の授業の充実
(3)　豊かな体験活動の工夫
(4)　日常的な人権感覚を高める指導と人権週間（12月）の活動の工夫

２　児童生徒理解による積極的な生徒指導の推進
(1)　居心地がよく，安心して登校できる学校の環境づくり
(2)　生徒指導の三機能を生かした児童生徒への日常的な関わり方の工夫
(3)　自己肯定感や自己有用感を高める指導の工夫（立場に立たせ承認する）
(4)　いじめの発見と不登校０に向けた共通実践
(5)　いじめ問題を考える週間（４月・９月・１月）における心に届く指導
(6)　個に応じた基本的な生活習慣の指導
(7)　先手あいさつや語先後礼，門礼の励行
(8)　構成的グループエンカウンターの計画的な実施（月１回）
(9)　家庭・地域，スクールカウンセラー，関係機関との連携

３　確かな学力の定着に向けた教科指導の工夫・改善
(1)　授業充実の３ポイント（目標の明確化・山場の工夫・見届け）を踏まえた授業デザインと評価の工夫
(2)　各教科の「見方・考え方」を働かせる発問，資料提示・活用場面の工夫
(3)　思考力，判断力，表現力等を高める言語活動の工夫
(4)　ＩＣＴ機器の効果的な利活用，プログラミング教育の充実
(5)　特別支援教育を踏まえ，ユニバーサルデザインを取り入れた授業の工夫
(6)　学力向上支援Webシステム問題等の発展課題の活用
(7)　学年相応の目標冊数の読破と本に親しむ環境づくり（毎月23日は親子読書の日）
(8)　60・90運動による家庭学習の習慣化

４　校内研修の充実
(1)　一人一研究授業と授業研究の充実
(2)　研究テーマを意識した日常の教育実践
(3)　校外研修内容の他職員への還元の実践（アウトプットを意識したインプットの質の向上）

５　体力・気力・運動能力の向上
(1)　児童生徒の体力，運動能力の実態に応じた教科体育の指導の工夫
(2)　一校一運動「縄跳び運動」の推進
(3)　昼休みの外遊びの励行

６　保健・安全・食育指導の充実
(1)　疾病予防と早期治療の徹底（う歯治療率100%）
(2)　「歯と口の衛生週間」（６月・11月）における家庭と連携した指導
(3)　熱中症，感染症予防の指導の充実
(4)　安全点検（毎月）と児童生徒による校区の安全点検・安全マップの作成
(5)　ＫＹＴによる危険回避能力の育成
(6)　関係機関と連携した安全教育の充実
(7)　家庭・地域と連携した登校指導の実施
(8)　郷土の食材のよさを学ぶ指導の工夫，栄養教諭と連携した食育指導

７　信頼される学校づくり
(1)　学校評議員会（学校関係者評価員会・信頼される学校づくり委員会）の充実
(2)　村・校区の関係団体，活性化委員会，民生委員との連携
(3)　学校便り，ホームページ，ブログの充実

学年・学級・小中学校部経営　｜　教 科 等 経 営　｜　諸係・部・委員会等の経営